

# 校 歌

釈 迢空 作詞

下総 皖一 作曲

目ざめよ朝の鎚の音  
夜はあかり立つほどの火や  
青田原蒲原の野に  
いと古き文化の都会  
ここに生まれて 十余年  
吾等はありき 鍛えつつ

海より出づる弥彦山  
山また山の粟ヶ嶽  
仰ぎ見る空は晴れたり  
そそり立つ尊き姿  
ここに生まれて 十余年  
吾等かくあり 屹然と

ゆたかに霞む信濃川  
五十嵐の水流れあふ  
川下と水上かけて  
いと清し ただに一碧  
ここに生まれて 十余年  
吾等はあらむ 常若に